

日本社会医学会は日本学術会議法改正に反対します。  
また、日本学術会議及び日本医学会連合の声明を支持します

2023年1月31日  
日本社会医学会理事会

内閣府は、2022年12月6日「日本学術会議の在り方についての方針」を示しました。この方針は、学問の自由と独立性を脅かし兼ねかねない重要な問題です。これに対し、日本学術会議は再考を求める声明（12月21日）を出しています。また、日本医学会連合も12月23日に学術会議の声明を支持すると表明しています。

学術会議法改正の政府の方針の要点は、学会員の選抜方法にあります。政府方針では外部の第三者委員会を人選に参画させ、内閣総理大臣による任命が適正かつ円滑に行われるよう必要な措置を講じるとして、任命拒否を正当化する法律にすることを目指しています。日本学術会議は、政府方針でいう第三者委員会は「学術会議の自律的かつ独立した会員選考への介入のおそれのある」と懸念を表明しています。日本医学会連合は、第二次世界大戦において科学者が時代の流れに飲み込まれた苦い経験をもとに、学術団体に求められる使命は、深い学術により裏付けられ、多様で長期的な視点から編み出されるビジョンの提出であり、これは必ずしも政府等と問題意識や時間軸を共有するものではなく、むしろそれとは独立に「あるべき姿」を提示するものでなければならないとして学術会議の法制化に反対しています。

日本社会医学会は、日本が過去に731部隊など医科学が軍事研究に取り込まれた歴史を踏まえ、社会医学の最大の脅威は戦争であり、戦争に医科学が協力することにつながる可能性を避けるべきとし、今回の日本学術会議法改正に反対する2つの声明に賛同し、支持します。

#### 参考資料

1. 内閣府 「日本学術会議の在り方についての方針」 2022年12月6日  
<https://www.cao.go.jp/scjarikata/index.html>
2. 日本学術会議 内閣府『日本学術会議の在り方についての方針』に関する懸念事項（第186回総会による声明に関する説明） 2022年12月17日  
<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-s186-setumei.pdf>
3. 日本学術会議声明 内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」（2022年12月6日）について再考を求めます 2022年12月21日  
<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-s186.pdf>
4. 日本医学会連合声明「日本学術会議の独立性維持を求める」 2022年12月23日  
<https://www.jmsf.or.jp/uploads/media/2022/12/20221223143831.pdf>